



クリスタルスノー・スペシャル・ストリングス  
ヴァイオリン奏者

山本 泰子さん



クリスタルスノー・スペシャル・ストリングス  
チェロ奏者

中川 恵美さん

# 管楽器と弦 奏でる素敵な音 多くの人に

# 楽器の共演で 楽の魅力を 広めていく



(株)太陽グループ会長  
ジミーオールスターズ トランペット奏者

東原 俊郎氏

き方だどちよつと合わないかな、と思うこともあります。その「ノリ」に乗っていきけるように努めています。

**中川** オーケストラだと指揮者の意向に奏者が合わせていくスタイルですが、ビッグバンドはドラムとベースがキーとなり、そこへブラスが集まっています。ストリングスはそこに立体感をつけるような役割ではないでしょうか。

東原俊郎太陽グループ会長がトランペットを吹くビッグバンド、ジミーオールスターズ。サッポロ・シティ・ジャズをはじめとする年間10数回の公演で、しばしば共演するのが弦楽器のクリスタルスノー・スペシャル・ストリングスだ。管楽器と弦楽器が一体化した音楽の魅力を東原氏と、ヴァイオリン奏者・山本泰子さん、チェロ奏者・中川恵美さんが語り合った。

**東原** ダブルカルテットはうちらがはしりじやないのかな。NHKが毎週火曜日に放送している『うたこん』の楽器編成を見るとけっこうウチと似ている。ウチのほうが先輩格だよ(笑)。

**お客様の前で演奏  
胸がいつぱい…**

——ストリングス奏者は、音楽専用ホールはもちろん、公共のホールやロビー、ショッピングセンタ

ダブルカルテットで音に相当厚みが出る——最初に、共演するようになったきっかけから聞かせてください。

**東原** かれこれ10数年前、ばんけいで行ったディナーショーの公演で、弟ジミー(東原・故人)が「ストリングス(弦楽器)に入ってもらいたい」と音楽関係者から紹介してもらったのが始まり。それからずっと続いている。去年一緒にやったのは5回。12月だけでも札幌文化芸術劇場hitaruのサッポロ・シティ・ジャズのシアタージャズライブ、ロイトン札幌でのクリスマスディナーショー、Zepp Sapporoのライブと3回。うちらは函館でも公演したから年末はさすがにクタクタになった。

——モールに至るまで、札幌市内はもとより道内地方都市にも出向いているなどところで演奏されています。ジミーオールスターズとの共演では大勢の客の前に演奏することも多いですね。

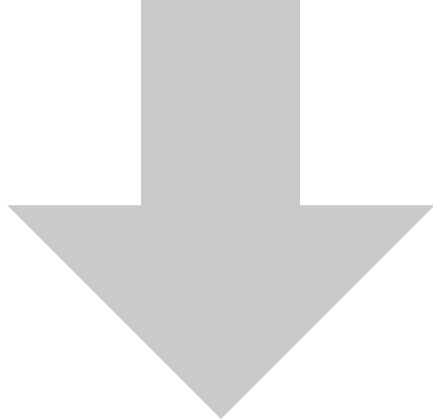
**山本** はい。コロナ禍で私たちの演奏活動も大きく制限されました。その期間が長かったので、hitaruをはじめ、たくさんのお客様の前で演奏できた時は胸いつぱい

**山本** はじめはカルテット(ヴァイオリン2、ヴァイオリン1、チェロ1)で出演させていただいていました。2019年から大きなステージではダブルカルテット(ヴァイオリン4、ヴァイオリン2、チェロ2)の8人で共演させていただいています。

——ビッグバンドとストリングスの共演の良いところ、メリットはどんなところにありますか。

**東原** 音に厚みが出るんだね。それも4人と8人じゃ全然違う。うちらはけっこうぐちゃぐちゃだから、正確なストリングスに支えてもらっているという感じ(笑)。それがバンドの色艶につながっていると思う。

**山本** クラシックのオーケストラとジャズのビッグバンドは「ノリ」が違うので、クラシックの弾



続きは『月刊クオリティ』本誌を  
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから  
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

**TEL 011-644-0101**

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)